

〈語録〉ダイヤモンドエレクトリックホールディングス 小野有理社長



「自動車の電動化が見直されている中で、その価値が再認識されているのが、内燃機関だ。日本の自動車産業の系譜は、内燃機関の技術を磨き続けた歴史そのものだ。これは世界に冠たる、日本の産業が誇る財産だ」「内燃機関の価値が見直されることで、それに携わる優れた技術者が再び、日の目を見ることになる。さらに、内燃機関の機能をより高めて環境負荷低減に挑もうとする学生の採用も進めることができる。今こそ、日本のものづくりの力を世界に見せつける時だ」

（自動車産業における内燃機関の価値を見直す動きについて）

日刊自動車新聞社様より記事利用の許諾を得ております。

掲載日 2026年8月12日 日刊自動車新聞 電子版 ©日刊自動車新聞社 無断複製転載を禁じます。